

伊勢崎市中心市街地の活性化に係る意見交換会

日時：令和4年12月23日（金）

午後2時から

場所：地域交流センター赤石楽舎 会議室

次 第

- 1 開会 企画部長
- 2 挨拶 伊勢崎市長
- 3 出席者自己紹介
 - (1) 伊勢崎市
臂 泰雄 市長
藤原 通孝 副市長
下城 賢治 副市長
 - (2) 伊勢崎郵便局
田中 秋利 局長
 - (3) 株式会社JR東日本ステーションサービス 前橋駅務管区
大谷 隆 副管区長
 - (4) 東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社 前橋営業統括センター
中見川 貴弘 副所長
 - (5) 東武ステーションサービス株式会社 太田駅管区 東武伊勢崎駅
難波 計久 駅長
- 4 意見交換
- 5 その他
- 6 閉会 企画部長

伊勢崎市中心市街地の活性化に係る意見交換会

日時：令和4年12月23日（金）午後2時

場所：地域交流センター赤石楽舎 会議室

1 伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備事業の概要について

本市は、伊勢崎織物協同組合（以下「組合」という。）が所有する土地の活用方法について、相互に連携し共同で検討を進めることにより、中心市街地の活性化と持続的発展を図ることを目的として、令和3年12月24日に「伊勢崎市と伊勢崎織物協同組合との基本協定」を締結しました。

本事業は、本協定を基に伊勢崎駅前広場及び（仮称）伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターに加え、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、組合が本市曲輪町地内に所有する土地を活用した拠点整備を目指すものです。

現時点においては、本年7月に外部有識者による検討委員会を設置し、「中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る基本構想案」の作成に向けて検討を進めております。

2 基本理念、キーワード及びコンセプトについて

(1) 基本理念 中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる「にぎわい拠点」を創出すること

(2) キーワード 「創業×情報」(SOUGYOU×JYOHOU)

(3) コンセプト

- ① 「ものづくりのまち」として発展したことの起源である伊勢崎銘仙をはじめとした織物産業を後世に伝える施設
- ② 中心市街地という好立地を生かし、「創業」の拠点として多くの人々が利用しやすい施設
- ③ 本市中心市街地としての魅力度向上と、多くの人々が集い、交流を実感できる施設
- ④ 市民の生活に活力を与え、安心して住み続けるために必要な施設
- ⑤ 中心市街地に関する情報をはじめ、多様かつ有効な情報を発信できる施設
- ⑥ 民間活力の導入をすすめ、まちのにぎわいをもたらす施設

3 郵便局及び伊勢崎駅との連携について

(1) 郵便局

市民サービスの向上に係る連携を行うことにより、市民が安心して、安全に暮らせる地域社会作りに資することを目的として、平成29年3月21日に「伊勢崎市と伊勢崎市内郵便局との連携に関する包括協定」を締結し、地域の安全、地域福祉の向上及び地域の環境保全に関する連携を図っているところです。

(2) 伊勢崎駅

本市の総合計画においては、伊勢崎駅周辺の土地区画整理事業の推進と併せ、中心市街地のにぎわいを創出するとともに、鉄道等の公共交通を市民の足として充実させ、交通利便性の向上を図る計画です。

また、市長マニフェストにおいても、伊勢崎駅から華蔵寺公園までの道路整備を検討するとともに、駅の更なる活用を図る取組も挙げられています。